

【2022 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
生命学		選択	1	1.2	後期 (隔週)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
宇賀 美奈子 他	B302	m.uga	木曜日 12:20~14:30		
授業の目的・概要	<p>〈目的〉生命学では生命とは何かを問う。生命について考察するとき、科学的知識に基づいて生命を捉える生命科学的アプローチと人類が生命をどう捉えてきたのか、生命の進化、生命と科学と文明の相互関連性からとらえていく哲学・社会学アプローチがある。生命科学、哲学、生命倫理など様々な視点から生命について考える姿勢を身に着けることを目的とする。</p> <p>〈概要〉生命にまつわるテーマについて、それぞれの視点からの知見を提示・解説する。それらの情報に基づき、グループでディスカッションを行いその結果を発表することで理解と考察を深める。</p>				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	配布資料を覚えることが学習ではない。講義では説明しきれない情報を参考として提示するため、それを取り掛かりにして積極的に学びに行く姿勢を身に着けること。学び方に関する質問は歓迎するので、遠慮なく質問すること。				
教科書	教科書は指定しない。必要な資料は講義中に提示する。				
参考書	講義中に必要に応じて提示する。				
外部教材	講義中に必要に応じて提示する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	生命について生命科学的な仕組みを理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(5)	
②	生命について、哲学・社会的な視点を理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(5)	
③	生命の尊厳や生命倫理の視点と課題について理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、(5)	
④	生命に関する多様な問題点に気づき、自分自身の意見を述べるができる			HSU(5)、(6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション 出生について① (テーマの提示と解説)	同時双方向型授業	授業後に提示される課題を実施する。	3	
2	出生について② (テーマに沿ったグループ・ディスカッション。ディスカッションの内容にあわせ、補足情報の提示や解説を実施)	同時双方向型授業	提示されたテーマについて意見をまとめる。授業後に提示される課題を実施する。	4	
3	出生について③ (ディスカッションの結論をグループ毎に発表) 臓器移植について① (テーマの提示と解説)	同時双方向型授業	提示されたテーマについて意見をまとめる。授業後に提示される課題を実施する。	4	
4	臓器移植について② (テーマに沿ったグループ・ディスカッション。ディスカッションの内容にあわせ、補足情報の提示や解説を実施)	同時双方向型授業	提示されたテーマについて意見をまとめる。授業後に提示される課題を実施する。	4	
5	臓器移植について③ (ディスカッションの結論をグループ毎に発表) 命について① (テーマの提示と解説)	同時双方向型授業	提示されたテーマについて意見をまとめる。授業後に提示される課題を実施する。	4	
6	命について② (テーマに沿ったグループ・ディスカッション。ディスカッションの内容にあわせ、補足情報の提示や解説を実施)	同時双方向型授業	提示されたテーマについて意見をまとめる。授業後に提示される課題を実施する。	4	
7	命について③ (テーマに沿ったグループ・ディスカッション。ディスカッションの内容にあわせ、補足情報の提示や解説を実施)	同時双方向型授業	提示されたテーマについて意見をまとめる。授業後に提示される課題を実施する。	4	
8	命について④ (ディスカッションの結論をグループ毎に発表)まとめ	同時双方向型授業	提示されたテーマについて意見をまとめる。授業後に提示される課題を実施する。	3	
試	定期試験は行わない。達成度評価・評価のポイントを参照				

【2022 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	36	0	64	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	4	0	12	16
	思考・推論・創造する力	0	0	8	0	12	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	4	0	10	14
	発表・表現伝達する力	0	0	8	0	0	8
	コミュニケーション力	0	0	4	0	10	14
	取組みの姿勢・意欲	0	0	4	0	10	14
	問題を発見・解決する力	0	0	4	0	10	14
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	グループでディスカッションした結果を発表する機会を 3 度設ける。それぞれの発表でテーマの内容を理解して意見を述べているか評価する。評価基準は講義中に提示する。			授業中もしくは Teams 上で総評を提示する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	各回授業後にリアクションペーパーとして、テーマに沿った自分の意見を述べる。グループワークの取り組み姿勢については教員の評価に加えて学生間の相互評価を取り入れる。			リアクションペーパーにはフィードバックコメント及び評価点を付して返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	井上美奈子 B311 (電子メール ID : minoue)						
教員の実務経験							
実践的授業の内容							
そ の 他	Microsoft Teams を用いた同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を奨励する。 なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。						